

No	資料名	頁	項目	質問項目	質問の内容	回答
1	実施要領	2	1	地域価値	町として現時点で想定されている地域資源や、優先的に取り上げたい在来種、農林産物、郷土料理、生産者、地域活動等がありましたらご教示ください。	仕様書に例示する在来種、農林産物、食文化、技術、物語等を含め、本町には多様な地域資源が存在しますが、本公募において特定の地域資源をあらかじめ優先対象として指定するものではありません。地域資源の選定にあたっては、白川町まち・ひと・しごと創生総合戦略(下記URL参照)を参考にいただき、提案者の独自の視点から、本業務の目的達成に効果的と考える地域資源を選定の上、その選定理由、価値向上の考え方及び具体的な活用方法等を提案してください。 https://www.town.shirakawa.lg.jp/chousei/keikaku/1002116.html
2	実施要領	4	8	様式5	参加申出時の提出書類として、様式5「業務実施体制調書」が指定されていますが、公開資料の中に様式5が見当たりません。様式データをご提供いただけますでしょうか。	ご指摘のとおり、実施要領8(5)に記載する「業務実施体制調書(様式5)」がホームページに掲載されておりませんでしたので、追加掲載します。これに伴い、現在掲載している様式5以降の様式番号をそれぞれ繰り下げ、様式6～10に訂正します。 なお、訂正前に各様式をダウンロードされた場合など、旧様式番号のまま提出された場合であっても、提出書類の内容が確認できるものについては、参加申出及び企画提案書の提出に支障はありません。 詳細は訂正後の掲載資料をご確認ください。
3	実施要領	5	9	企画提案書の提出	提出方法の具体的な記述が見受けられませんでしたでしたが、電子データ提出のみでも対応は可能でしょうか。	電子データのみの提出は不可とします。実施要領9(1)に定める企画提案書等について、正本1部、副本8部の計9部を提出してください。提出方法は、持参又は郵送(書留等、配達記録が確認できる方法)とします。
4	実施要領	11	8	企画書仕様	企画提案書について、用紙サイズ、縦横、ページ数等の指定または推奨がありましたらご教示ください。	企画提案書は任意様式としており、用紙の縦横及びページ数について特段の指定はありません。ただし、審査における視認性・比較のしやすさに配慮し、A4判を基本として簡潔かつ分かりやすく作成してください。 なお、提出部数は実施要領9(1)のとおり、正本1部、副本8部の計9部です。
5	仕様書	1	2	地域課題	本事業を通じて、町が最も解決したい地域課題は何でしょうか。また、事業終了時に「この事業を実施してよかった」と判断する、最も重要な変化や成果をどのようにお考えでしょうか。	白川町が持つ自然・お茶・東濃ヒノキなどの「もの」や、地域を支える「ヒト」といった地域資源は、この町に暮らす多くの人にとっては、ある事(存在)は認識しているものの、日常の当たり前でしかないのが現状です。地域資源の真の価値を、町外の視点やプロの技術によって再定義・磨き上げを行い、これにより、町民自身が地元資源の価値や魅力を再発見・実感し、町への誇り(シビックプライド)を醸成することを目的とします。
6	仕様書	1	2	業務の目的	対象となる地域資源について幅広く例示されていますが、町として現状ポテンシャルが高いと考えている、あるいは優先的にテコ入れしたい具体的な資源(特定の在来作物、特定の伝統行事や技術など)は何でしょうか。	No.1の回答のとおりです。本公募において、特定の在来作物、伝統行事、技術等を優先対象として指定するものではありません。提案者の専門的知見及び創意工夫を生かし、本業務の目的達成に効果的と考える地域資源及びその活用方法を提案してください。

No	資料名	頁	項目	質問項目	質問の内容	回答
7	仕様書	2	6 (6)	地域内での活用・流通・社会実装	『道の駅美濃白川』や『野菜村チャオ』での実証にあたり、現在の施設管理者との連携や合意形成はどの程度進んでいますでしょうか。施設者連携人員や利用可能スペースの有無などご教示ください。	仕様書6(6)に記載する「道の駅美濃白川」及び「野菜村チャオ」は、地域内での活用・流通・社会実装を図る際の主な活動フィールドとして想定しているものです。具体的な実証内容、使用スペース、施設側の協力体制等については、提案内容を踏まえ、契約締結後に本町及び関係者との協議・調整により決定することを想定しています。したがって、企画提案時点では、特定のスペースや施設側の人員提供等を前提とせず、実現可能性に配慮した提案としてください。
8	仕様書	2	6	KPI	現時点で町として定量指標(KPI)に掲げている具体的な数値目標等がございますでしょうか。	現時点において、本町が一律に定める具体的な数値目標は設定していません。実施要領9(2)①のとおり、本業務の目的及び提案内容を踏まえ、成果を把握するために適当と考えるKPI及びその把握・検証方法を提案してください。 なお、仕様書6(8)のとおり、定量指標のみならず、意識変化や関係形成等の定性的な効果についても検証することを想定しています。
9	仕様書	2	6 (8)	効果検証(KPI)及び次年度展開提案	効果検証におけるKPI設定について、本事業では最終的にどのような数値を最も重視すべきとお考えでしょうか。(例:実証実験での直接的な『売上額』、SNS等の『リーチ数・認知度』、イベント等への『集客数』、事業に関わる『関係人口・関係事業者数』など)	特定の指標を一律に最重要指標として指定するものではありません。本業務では、地域資源の価値向上・活用促進から地域内での社会実装、次年度以降の継続・発展までを一体的に進めることを求めています。このため、売上額、情報発信の到達度、参加者数、関係する事業者・人材の数等を含め、提案する取組の目的及び内容に応じて、その成果を適切に把握できるKPIを設定し、設定理由及び検証方法と併せて提案してください。
10	地域資源の付加価値化プロジェクト「種を蒔くクロニクル」			既存プロジェクト	現在推進されている「地域資源の付加価値化プロジェクト「種を蒔くクロニクル」」について、詳細な資料や情報があればご提供をお願いします。今回の施策検討に関連性が高いと考えてのご依頼となります。	「地域資源の付加価値化プロジェクト～種を蒔くクロニクル～」は、本事業の実施に必要な財源を確保するため、企業版ふるさと納税による寄附募集に際して設定したプロジェクトの名称です。このプロジェクトの本質は、単に商品を開発して売ること(=花を咲かせて売ること)ではなく、「町民が自分のまちの価値に気づき、誇りを育んでいくプロセス(=種を蒔き、育てていく物語)」です。その内容は、No.5の回答に記載の本事業の趣旨と同様に、地域資源の価値を再発掘・磨き上げ・可視化し、暮らしている人たちの町への誇りを醸成することを目指すものです。 本町が企業版ふるさと納税による寄附募集のために作成・公表している当該プロジェクトに関する情報は、本町ウェブサイトに掲載している内容が全てであり、これとは別に提供できる詳細資料はありません。 企画提案に当たっては、今回公表している実施要領、仕様書及び評価基準に基づき、本業務の目的及び求める成果領域を踏まえ、提案者の専門的な知見、経験及び創意工夫を生かした企画をご提案ください。